２　年

たいよう

- よく見、よく聴き、よく考える子（知育）
- 元気にあいさつや返事をし、自分の考えを表現できる子（徳育）
- 相手の気持ちになって考え、思いやりをもって行動できる子（徳育）
- 善悪の判断ができ、正しいと思ったことを進んで実行できる子（徳育）
- どんなことにも意欲的に粘り強く取り組む子（体育）

経営方針

- 静かに待つことで、周りをよく見、人の話を最後までよく聴き、考える態度を育てる。
- あいさつをすることの大切さを知らせ、進んであいさつをし、プリントの配付時や落とし物を拾ってもらったときなど「ありがとう」「お願いします」と言えるよう声掛けをしていく。
- 協力して活動する機会を意図的に作り、友達と関わることの楽しさ、協力することのよさ、相手を思いやることの大切さを感じ取らせる。
- 日常的に、正しいことか悪いことかを考える場面を作り、正しいことを勇気をもって行おうとする気持ちを育てる。
- 何事にも興味をもって進んで取り組むことの大切さを知らせ、児童の頑張りを称賛し、自信とやる気をもたせ、主体的に活動しようとする意欲を育てる。

各教科

- 漢字の正しい筆順や字形を身に付けさせ、文字や言葉に関心をもたせる。
- 音読学習や読み聞かせを通して、本に親しませ、想像力豊かな子、知的好奇心の高い子を育てる。
- 具体物・半具体物の操作を積極的に取り入れ、体験的に基礎学習ができるよう工夫する。
- 掛け算を様々なやり方で反復練習し正確にできるようにする。
- 対話的活動を取り入れ、友達と考えを伝え合うことで学びを深め、分かる楽しさを味わえるようにする。
- 観察したり、育てたり、作ったりする活動の楽しさを味わわせ、言葉や絵、動作化や劇化など、様々な方法で表現できるようにする。
- 簡単なリズム楽器の演奏に慣れ、身体表現や器楽合奏を楽しみながら、リズム感を育てる。
- 基本の運動やゲームを通し、誰とでも仲良く、安全に留意して取り組む態度を育てる。

学級活動・生徒指導

【学級活動】

- 一人一人に役割をもたせ、自主的な活動を促し、認め合う雰囲気作りをすることで、自己有用感や自己肯定感を高める。
- 今何をするべき時間なのか児童に問いかけ、一人一人が考えて行動する力を養う。
- よいと思うことを相手を助けるために行う「助っ人」を積極的に取り入れ互いに助け合えるようにする。
- きまりを守ることや、健康や安全を守ることの大切さに気付けるようにする。また、自分のことは自分でできるように基本的な生活習慣を身に付けさせる。

【生徒指導】

- 自他を傷つける行為は絶対に行ってはならず、自分の行為を常に省みるよう指導する。
- トラブルの未然防止・早期発見を心がけ、互いが納得して解決できるように努める。